

2008(H20).05.07

関東大会県予選準々決勝は7点(1T・1G)差で惜敗しました

5月7日(水)12:50～鹿嶋市ト伝の郷運動公園で行われた、関東大会県予選の準々決勝で、日立一高は東洋大牛久高に前半19-19、後半12-19、計31-38で惜敗し、ベスト4入りを逃しました。



この試合、前半15分までは19-0と完全なワンサイドゲームでしたが、暑さのためウォーターブレイクを入れた頃から疲れが見え始め、立て続けにトライを奪われて前半は19-19の同点。後半は逆に0-19と一方的にリードを奪われましたが、終了間際に2トライを返してノーサイド。

終わってみれば、トライ数では5-6の1本差、前半の中頃にもう1本トライがとれていれば、或いはそのまま逃げ切れたかもしれません。・・・勝負に「たら・れば」は禁物ですが、惜しまれます。

攻めているときの強さと守りに入ったときの弱さが同居しており、FWのスタミナ不足、簡単にターンオーバーを許してしまうBKのボールコントロールの拙さ、疲れたときのタックルの甘さ、等々の課題が改めて浮き彫りになりました。

英 5-12

つくば秀 17-12

つくば秀 5-17

※抽選により、つくば秀英の勝利

茗荷学園 77-27

50-0

合同A (磯原・水戸)

久 19-12

東洋大牛 38-19

19-31

日立一 19-12

清水学園 71-28

43-0

10-10

水城

▽準々決勝

7日・鹿嶋市ト伝の郷運動公園

ラグビー

関東高校大会県予選は6、7の両日、各地でライフル射撃、ラグビー、サッカー、アーチェリーを行った。

関東高校大会
県予選



上位の私立校と互角に戦えるだけのチーム力がついてきたことは事実です。しかし、さらに上を目指すために何が必要なのか…部員も指導する側も、改めて胸に手を当てて考えてみる必要があります。

次の試合は、5月13日(火)11:40～ト伝の郷で、水戸一高・磯原高の合同チームとの5位決定戦。合同チームとはいえ、その戦力は侮れません。さらなるステップアップのための試金石として、次の大会につながる内容のある試合になることを期待しています。